



科学博物館ニュース速報

No.3 October 5, 2012

第3号 2012年10月5日

科学博物館リニューアル 記念式典を開催

10月2日(火)午後3時より工学部グリーンホールでリニューアル記念式典が、180名の参加者を得て開催されました。本学の理事経験者、経営協議会メンバー、周辺の大学長、自治体および周辺博物館の関係者をお招きするとともに、本学関係者、学生、友の会・繊維技術研究会メンバーが参加しました。

冒頭、松永学長より、主催者側挨拶として本学の特徴、博物館の紹介、今回のリニューアルの意義などを説明し、参加へのお礼が述べられました。その後、梅田科学博物館長が、リニューアルの経緯、特に改修のコンセプトとして、

- ・大学博物館の歴史を感じる空間
- ・大学の現在と未来を発信する空間

と定め、内装デザインや展示内容等大幅な見直しが行われた旨の説明がありました。

続いて来賓挨拶として 文部科学省大臣官房文教施設企画部技術参事官 長坂潤一氏から、科学博物館のリニューアルオープンへのお祝いの言葉、文部科学省として今後も施設改善を進めたいとのお話がありました。次に、改修・機能改善された科学博物館の概要をスライド上映をもとに博物館教員の中澤助教より説明があり、記念式典終了後の内覧会への誘いを行いました。

挨拶及び概要説明の後、記念講演として、宇宙航空研究開発機構有人宇宙環境利用ミッション本部グループ長の山口孝夫氏より「宇宙服開発の歴史と展望」と題して、宇宙服の機能、米露の宇宙服の特性、JAXAでの開発状況と我が国産業界への期待が述べられました。日頃、国際宇宙ステーションのニュースはよく耳にしますが、宇宙服の詳細について知る機会ほとんどなく、大変有意義な講演会で、参加者からも好評でした。

記念式典終了後、科学博物館に参加者全員が移動して博物館のエントランス前で、長坂技術参事官、日比谷ICU学長、藤森同窓会会長、松永学長、梅田館長によるテープカットが行われて内覧会がス

タートしました。16時半から18時まで内覧会が行われ、150名を越す参加の方々が、新しくなった博物館内の展示品の観覧を楽しまれました。

18時からは場所を140周年記念会館エリプスに移して懇親・情報交換会が開催され、三鷹市長、小金井市長、ICU学長、一橋大学長など、多くのご来賓の参加をいただき、自治体や大学での博物館の積極的な利用について意見交換が行われました。

以上、今回の科学博物館リニューアル記念式典、および関連行事の概要について報告しました。学長挨拶文、および関連写真を掲載しましたので、ご覧ください。

学長ご挨拶

本日は、リニューアル記念式典に多くの方々のご出席をいただき、誠にありがとうございます。特に、ご来賓の文部科学省大臣官房文教施設企画部技術参事官の長坂潤一様を始め、近隣自治体、大学並びに博物館関係者の皆様方には、ご多忙の折りにもかかわらずお越しいただき心から感謝申し上げます。

本学は、明治7年(1874年)に内藤新宿に設置された内務省勸業寮内藤新宿出張所農事修学場と蚕業試験掛を起源とし、間もなく創基140年を迎えます。この間、本学は産業の基幹である農学と工学を中心として、その融合分野も含めた教育研究分野を備えた特色ある科学技術系大学として、多くの教育研究の成果を世界に向けて発信してまいりました。

東京農工大学科学博物館は、このような本学の歴史的背景を踏まえ、養蚕、繊維関係、農学系資料や農機具といった貴重な資料を多数収集、保管、展示してまいりました。

特に、平成20年度に全学組織の位置付けとなつてからは、本学の学術資料全般の収集・公開はもとより、本学の教育研究活動の情報発信も重要なミッションとして、博物館活動を展開してまいりました。

しかしながら、近年は耐震性が懸念されるとともに、新たな博物館活動を充実させていくための機能改善の必要性が高まっております。

そのような状況の中で、文部科学省か

らご支援を得て、昨年度より耐震補強工事と機能改善のための改修を進めて参りましたが、本日ここにリニューアル記念式典を迎える運びとなりました。これもひとえに関係の皆様方のご支援とご協力の賜と感謝申し上げます。

本科学博物館は本学の前身であります「東京蚕業講習所」、「東京高等蚕糸学校」から脈々と受け継がれてきました学術的価値のある資料を多く所蔵しており、養蚕・製糸をテーマにした江戸時代・明治時代の蚕織錦絵、世界初の化学繊維シャルドンネ人絹、生糸商標、各種繊維標本群、繊維機械などが、特徴あるコレクションとして挙げられます。特に、大型の繊維機械類は、その大部分について、実際に動いている様子を見学していただくことができ、この動態展示が本科学博物館の大きな特徴ともなっております。

また、今回の改修を機に、本学学部・学科の紹介を行うとともに、本学の研究成果を分かりやすく発信するために、新たに「教育研究展示室」を設けるとともに、本学特別栄誉教授の遠藤章先生の業績を顕彰する展示室も開設いたしました。

この後、独立行政法人宇宙航空研究開発機構の山口孝夫様より宇宙服開発に関するご講演をいただくとともに、リニューアルいたしました科学博物館の内覧会を予定しております。本日ご来場いただきました皆様方におかれましては、記念講演をご聴講いただくとともに、お時間の許す限り内覧会にもお運びいただきませうようお願い申し上げます。

最後となりましたが、本科学博物館は、資料の収集、保存、研究のみならず、本学の教育研究力の情報発信、そして地域貢献・生涯学習にも対応できる大学附属の専門博物館として、今後も様々な活動に邁進していく所存ですので、本科学博物館に対する更なるご指導、ご鞭撻をお願いしまして、私からのご挨拶とさせていただきます。

平成24年10月2日
国立大学法人東京農工大学学長 松永 是



リニューアル式典



会場風景

内覧会



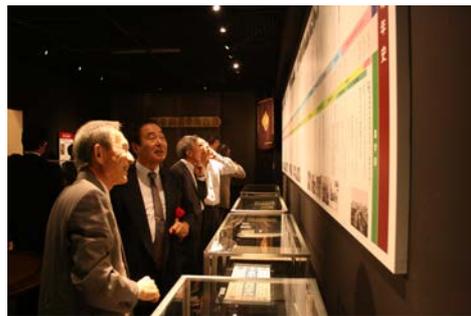
テープカット



小金井市長 稲葉孝彦氏ご挨拶



松永 是 学長ご挨拶



学史展示室 観覧風景



梅田倫弘 科学博物館長 挨拶



宇宙服展示室 観覧風景



文部科学省 長坂潤一技術参事官
ご挨拶



機械展示室 観覧風景

情報交換会



JAXA 山口孝夫氏 記念講演



情報交換会 風景

お知らせ

★錦絵絵はがきプレゼント

博物館リニューアルを記念し、来館者に錦絵の絵はがきをプレゼント中。

期間：10月31日まで

来館時に受け付けでお受け取り下さい。

★博物館企画展「農工大発 イノベーション・シーズ展 ―人と環境の未来を拓くテクノロジー―

会期：平成25年11月10日～平成25年3月2日

会場：科学博物館企画展示室（1F）

★繊維技術研究会講演会

「蚕織錦絵 ～教草を中心にして～」

会期：平成24年10月16日（火）

講師：五味 宏（繊維技術研究会）

会場：科学博物館講堂（3F）

★子供科学教室開催予告

「色を分けよう！ークロマトグラフィーに挑戦ー

講師：中澤 靖元（科学博物館・助教）

会期：12月1日（土）午前10時～12時

会場：科学博物館多目的実験室（3F）

「科学的な目玉焼きマスター教室」

講師：佐久間 淳

（機械システム工学科・准教授）

会期：12月15日（土）午前10時～12時

会場：科学博物館多目的実験室（3F）



「科学博物館ニュース速報」第3号

◆発行日 2012年10月5日

◆編集 博物館ニュース編集委員会

梅田倫弘・中澤靖元・高木愛子

◆発行 東京農工大学科学博物館

◆連絡先

kahaku@cc.tuat.ac.jp

042-388-7163